大人　きたえほめる

「校訓とともに」

夏休みは
じぶんから　かぞくと　いっしょうけんめい

子ども　つみかさね

長崎市立外海黒崎小学校
令和５年度学校だより
令和５年７月 19 日(水)
校長　溝　川　　浩

夏休みに毎日やろう！
「あ・は・は」の実践長崎ー

～１学期終了　夏休みは家庭と地域が学ぶ場です～

令和５年度１学期が明日で終了します。「つみかさね」を言い続け、職員一同、きたえほめる教育に努めてまいりました。今年の１学期は、インフル、大雨に見舞われ、私たち大人の危機管理を更に試された感がします。出席停止の多い１学期でしたが、学校生活はとても充実しておりました。

明日の終業式では、全校児童に**「夏休み　わたしをのばす　３つの『ふ』」**について話をいたします。昨年度はコロナで行動制限が求められていたため、この合言葉を示せませんでしたが、今年は**①ふれあい②ふるさと③ふりかえり**をつみかさね、夏の成長を期待します。裏面をご自宅に掲示していただき、ご家族のよりよい暮らしにお役立てください。

また、夏休み初旬には、面談を実施いたします。限られた時間ではありますが、担任と直接話をしていただき、お子さんや子育てについて共通理解ができますよう有意義な時間にしてください。

お知らせ・お願い

★通知表を見て我が子に何を言うかが大事

通知表の結果が良ければ、子どもはすぐ親に見せ、悪かったら渋々見せますよね。親として努力いただきたいのは、通知表の結果から我が子の成果や努力を見つけ、まず褒めることです。最低限、事故、怪我なく通学できたことをほめてほしいです。

次に、前の学年と比べ親としての評価を伝えてください。良い点と頑張る点を。

最後に、我が子がやる気を出す親なりの一言で締めくくっていただくと幸いです。子どものとき、親からこう言われた（かった）という一言を。一生憶えています。

★歯の治療を夏休み中に必ず！

虫歯の治療をお願いします。長く教員をしている経験上、虫歯の放置は発育、学習、骨に影響し、また命にかかわることが分かっています。放置の末、高額出費に至る前に、都合をつけやすい夏休み中に対応をお願いします。

★時間外、校区外の外出について再確認

近隣では神浦地区、三重地区で地域行事があると聞いております。社会教育に学ぶ機会は大切ですが、午後６時以降、また校区外の外出に保護者の同伴は必須です。

子どもが巻き込まれる事件や事故が多い中、保護者によるルールの指導と遵守徹底について何卒お願いいたします。

★宿題は責任を果たす学びでもあります

これまでの学習内容を復習し、知識や技能を確かにするのが宿題の効果です。加えて、宿題を済ませる経験の積み重ねで、仕事を果たす責任と能力も育ちます。できたら褒め、くじけそうになったら励ましを。

～子供と一緒の夏休みを充実させるコツ～

※昨年度、左記掲載で好評をいただきましたので、一部更新のうえ再掲します。

★夏休み＝保護者の繁忙期

夏休みがたいへんと感じる保護者の方からよく聞く言葉は、「毎日のお昼ごはんを考えるのが面倒　宿題をやらせるのが大変　外に行けば暑い　家事がはかどらない　ダメな部分に目がいき叱ってばかり　自分時間はまったくない」などなど。たしかに、子供がいると何かしら考えねばなりません。外出も手ですが、お金もかかるし炎天下では暑すぎます。どう過ごすのが親子にとっていいのでしょうか。

★「どこかへ連れて行ってあげなくては」という思いがプレッシャーに

保護者はついつい子供中心の過ごし方を考えてしまいがちです。子供の口から出る「〇〇に行きたい」「〇〇をしたい」をかなえることが、円満な夏休みにつながると思えてくるからです。でも、「どこかへ連れて行ってあげなくては」と思うあまり予定を詰めこんだら、親の精神衛生上よくありません。「せっかくの夏休み、普段行けない所に連れて行きたい」というのが親心。でも、**夏休み＝お出かけ、だけではありません。**

★せっかくの夏休み　おすすめはこれ！

私がおすすめする夏休みの過ごし方は、**家事を体験させ、これを機に役割を与えること**です。つまりは「お手伝い」。「いやいや、うちの子お手伝いなんてしてくれない」と思う方もいるでしょう。「家事が嫌い」なのではありません。子供が嫌がるのは、「命令されるから」「単純作業ばかり頼まれるから」。楽しむ要素が欠けているからです。**新たな発見、挑戦、理科の実験的なもの、一緒にできるものであれば、お子さんも喜んでやりたいと言うはずです。**

★一番のおすすめは「料理」です。

道具で材料を計る、米を研ぐ、素手で食材を混ぜる、ピーラーでにんじんの皮をむく。これらは、子供が大好きなプロセスです。毎日十一時からお子さんと一緒に準備を始めれば、十二時のランチタイムまで穏やかに過ごすことができます。

★お手伝いがもたらす３つの心理的な効果

①子供の自己効力感がアップする：子供の自己効力感アップのポイントは、達成経験。**料理のプロセスは、とくに達成経験が得られやすい**ので、その点からもおすすめです。

②ほめて伸ばす子育てを体感できる：叱るよりもほめて育てたいと思っているけれど、ほめるところがないと思っている方も多いようです。お手伝いをさせると、自然とほめる機会が増えるので、**ほめて伸ばす子育て**を自然な形で体感できるようになります。

③親自身の満足度もアップする：子供に料理や掃除をさせると、たしかに時間はかかります。しかし、ペースは遅いながらも、なんとか家事が進むので、夏休みにありがちな家事の滞りを減らすことができます。また、**「子供にとっていい勉強になった」「いい経験をさせてあげられた」と親としての満足度もアップします。**のちに学力アップするうえでも、**お子さんの自発性、創造力を育てる効果的な教育法でもあります。**